



浪高だより

Aomori Pref. Namioka High School

第 13号 令和 3年 11月 16日(火)発行

〒038-1311 青森県青森市浪岡大字浪岡字稲村 101-2

TEL 0172-62-4051(代表) fax 0172-62-1556

<http://www.namioka-h.asn.ed.jp/>



令和2年10月10日(土)
創立90周年記念式典挙行

『インターンシップ』

2学年 25名・11カ所で就労体験

11月4日(木)・5日(金)の2日間、地区の企業を中心に2学年のインターンシップが行われました。職場での体験学習を通して就業意識を向上させること、職場での実践的活動を通して社会人として必要なマナーを習得させることなどを目的に11の店舗・事業所で実習しました。当初は例年行われている9月の総探集中日に3日間で計画していましたが、8月末に出された青森県の緊急パッケージによる新型コロナウイルス感染症対策の要請を受け、急遽日程を延期し事業所を一部変更することになりました。それでも、浪岡高校を応援して下さる企業から、多くのご支援・ご理解をいただき、今年度も無事開催することができました。

生徒たちの職場での心構えやビジネスマナーを体験的に学習し、将来の進路目標の達成に向けて勤労観や職業観を身につけることができました。この体験を生かして自らの適性を知り、進路を考える機会にして欲しいと思います。



2学年 インターンシップ事前指導講座 10月29日(金)

インターンシップでの心構えやコミュニケーション能力を育成することを目的に、事前指導講座が行われました。(株)JOY代表取締役 石岡 百合子氏を講師に迎え、会社や職場の人間関係について、礼法指導などインターンシップを行うに当たって必要な心構えについて、注意・確認事項などを含めて講演して頂きました。



P T A 研修委員会主催 料理教室開催・・ 11月14日(日)

「家庭で簡単にできる正月料理」をテーマに、NPO 法人横町十文字まちそだて会理事アイビーコンフィング株式会社取締役 リー・ニョクベン氏を講師に迎え開催されました。

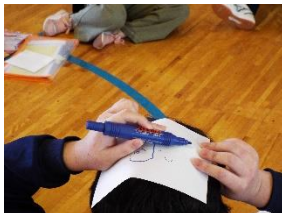


「浪高だより」は、本校 HP に掲載しています。浪岡高校公式 YouTube「浪高チャンネル」も視聴よろしくお願いします。



青森県総合社会教育センター主催「大学生とカタル！ キャリアサポート形成事業」を活用した、高大連携キャリアサポートが、1年生を対象に行われました。大学生とコミュニケーションを図りながら、生徒自身の進路目標について真剣に考える態度を育成することを目的として行われています。

県内在住の大学生29名が来校し、簡単なゲームでアイスブレイクを行い、大学生たちの体験談を聞いたり、「やりたいことを始められるワタシってどんなワタシ」をテーマにワークショップを行ったりしました。グループでの活動を通し、自分の高校生活の過ごし方や将来について考える機会となりました。



3 2 回目 空き缶壁画お礼

11月8日(月) JRC 部が、今年度の空き缶壁画への協力に対して、お礼状を町内会回覧板へ配布しました。今年度も空き缶のご協力ありがとうございました。

【お礼状の一部】

この空き缶壁画の作成もひとえに、たくさんの空き缶を学校にお届けくださった浪岡地区住民の皆様をはじめとする多くの方々のご協力のおかげであり、心から厚くお礼申し上げます。

生徒会役員立会演説会

生徒会役員任期満了に伴い、役員改選のための生徒会立会演説会が、11月10日(水)に行われました。選挙管理委員委員長 安田 宗平君の司会進行に従い、立候補者・応援責任者が全校生徒に向けて意気込みなどを語りました。



回覧

令和3年11月15日

浪岡地区住民 各位

青森県立浪岡高等学校
校長 對馬 壽 晴

32回目の「空き缶壁画」展示について(お礼)

向寒の候 皆様方におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度も浪高の代名詞となった32回目の「空き缶壁画」を作成することができました。10月1日(金)に無事吊り下げを終え、10月27日(水)まで展示しました。今年度は青森の「さんまくん」と浪岡の「もっふるちゃん」を弘前の岩木山が見守り、『祝 世界遺産登録～さんまくん、もっふるちゃん、乗っ切るう～』と題して、北東北縄文遺跡群世界遺産登録を祝しつつ、コロナに負けない青森県をイメージして作成しました。

この空き缶壁画の作成もひとえに、たくさんの空き缶を学校にお届けくださった浪岡地区住民の皆様をはじめとする多くの方々のご協力のおかげであり、心から厚くお礼申し上げます。

21,000個の350ml アルミ缶を使用する「空き缶壁画」は、①空き缶の回収 ②ブルタブのひきはがし ③洗浄 ④乾燥及び適性缶の識別 ⑤色ごとの分別 ⑥針金を通すための穴あけ ⑦図案に基づいた缶の配列及び針金通し ⑧校舎への吊り下げ等々、長期間にわたる地道な工程が必要です。吊り下げまでの約8カ月間にわたる活動を通して、全校生徒が力を合わせ、完成させました。その甲斐あって、ようやく完成した時には、地域の皆様が見守る中、全校生徒は大きな喜びに浸ることができました。

また、年末には展示を終えた空き缶と、これまで使用し役割を終えた空き缶をリサイクル業者へ引き渡します。換金したリサイクル料は浪岡の社会福祉協議会に献金いたします。本当にありがとうございます。

結びに、本校は昨年度創立90周年を迎えました。「空き缶壁画」は来年度も制作する予定です。これからも空き缶壁画などを通して、地域の皆様とのつながりを大切にしたい地域の学校であり続けたいと考えておりますので、他の教育活動も含め、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。お礼とさせていただきます。

『祝 世界遺産決定！～さんまくん、もっふるちゃん、乗っ切るう～』



吊り下げの様子

